

今回は、渥美半島菜の花浪漫街道の取り組みについてご紹介します。

●渥美半島菜の花浪漫街道ってなあに？

渥美半島の魅力や美しさを発見し、自然や観光、文化などの地域資源を活かして美しい道づくり・景観づくりを行い、観光振興や地域の活性化を図る渥美半島菜の花浪漫街道。田原市全域をエリアとし、国道42号と国道259号を軸とした活動の特徴付けているのは、文字通り“菜の花”です。温暖な渥美半島では、12月から3月にかけては約1200万本の菜の花が咲き誇り、7月



▲菜の花畑(加治町)



▲恋路ヶ浜

から8月にはヒマワリ、沿道花壇の花々が年間を通して国道沿いを鮮やかに彩ります。

●どんな取り組みをしているの？

菜の花エコプロジェクトの推進や遊休農地の活用、沿道花壇の管理、清掃活動、自転車道の活用、花・海・エコに関するイベントや情報発信など、さまざまな事業を行っています。これらの5年間の取り組みを記した第2次アクションプランに基づき、市民や事業者、各種団体、行政などが協力しながら活動を行っています。取り組みの様子については、随時、ブログで発信し隊の方々が情報を発信していますので、ぜひご覧ください。



◆渥美半島菜の花浪漫街道ブログ

☎ <http://nanoharomankaido.dosugoi.net/>



みんなで取り組む防災・減災

非常持出品を用意しよう！

17



こんにちは、しろちゃんです。皆さん、非常持出品を用意していますか？避難するとき、必要最小限の非常持出品と、避難生活が長引きそうなときに必要な非常備蓄品の2種類を用意することで、中身が整理できます。それぞ



れの中身を、紹介します。

◆非常持出品

避難するときに、とっさに持ち出せるようできるだけ、軽量・コンパクトにまとめ、一人一個ずつリュックサックなどに入れておきましょう。

【例】非常食（ビスケットなど）、水、ラジオ、懐中電灯、貴重品、マスク、スリッパ、ビニール袋、ライター、電池、常備薬・お薬手帳、眼鏡・コンタクト用品、生理用品など



※必要に応じて、粉ミルク、紙おむつ、ペット用品なども用意しましょう。

◆非常備蓄品

災害復旧までの数日間を過ごすために必要なものです。災害発生から3日間は、市役所や他の地域からの支援が期待できないため、最低3日分は用意しておきましょう。

【例】非常食（缶詰やレトルト食品など）、飲料水（一人一日3リットル）、衣類、ろうそく、簡易トイレ、歯磨きシート、カセットコンロ、紙食器、ラップ、トイレットペーパーなど



● 持出品の重さの目安は、男性で15kg・女性で10kg程度とされています。あまり欲張らず、避難に支障がない程度にしましょう。

● 非常食や飲料水などの消費期限のあるものは、定期的に確認して交換しましょう。

● 持病の薬や入れ歯、眼鏡など、人に借りることのできないものは自分で用意しましょう。

▼ 防災対策課 ☎23局3548